

# 北海道善行賞を受賞して

**延期のお知らせ**  
毎年5月中旬に開催されていた北海道善行賞表彰式は、新型コロナウイルスの関係で延期になっていきます。

富良野市白菊会

脇田 英里子

この度、優良ひとり親家庭として北海道善行賞受賞決定のお知らせを頂き、大変光栄なことと感謝の気持ちでいっぱいです。

離婚当時、長男は中学2年生。娘2人は、小学2、3年生でした。仲良しのお友達と別れる寂しさと引越したによる大きな環境の変化は、とりわけ長男にとってはどれほど辛いものであったでしょう。日々の暮らしもままならない中、「私には子供達をしっかりと育てる責任がある」との信念が私を奮い立たせてくれたに思います。

この12年の間には、



し学を癒業科苗卒業年、の園毎育す達の高からして子どもが購入された



お盆に実家でバーベキュー

語りつくせぬ程紆余曲折ありましたが、実家の両親をはじめ、富良野市白菊会の皆様、市の相談員様、周囲の皆様、そして誰よりも私のすぐ側で喜びも悲しみも分け合っただけ合つて乗り越えて来てくれた子供達のお陰で頑張つてこられました。この場をお借りして、改めて心からの感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響も心配されますが、長男は飲食店の厨房で働きながら調理師免許の取得を、長女は看護学校、次女は短大の栄養士課程に進学し、望む未来へと邁進しています。その

姿はとても頼もしく私の誇りです。「明けない夜はない」そう信じてこれからも家族の絆と感謝の気持ちを大切に努力して参ります。

登別市母子寡婦の会

中鉢 美佳

この度は、優良母子家庭として善行賞という素晴らしい賞をいただき、大変嬉しく思っております。

私が登別母子寡婦の会に入会させていただいたのは、長男が高校生になった時でしたが、奨学金の支援を頂き、とても助けられました。大変感謝しております。

13年前に主人が急逝した時、長男は7歳、次男は3歳になったばかりでした。まだ小さかった子供を抱えて仕事をしていくことは大変でしたが、両親をはじめ、周りの方々のサポートのおかげで、何とか今までやってこれたというのが正直な気持ちです。特に両親には感謝してもしきれない気持ちでいっぱいです。

現在、長男は大学3年生になり将来の夢に向かって進んでいます。次男には障害がありますが、今年



パソコンで仕事の中鉢さん



7年前、家族泊温泉に家族で来た思い出

の春に中学を卒業し養護学校へ入学しました。本人のペースで少しずつ、生きていく為の力が身につけていってくださることを願っています。

今回の受賞を受けて、改めて自分は自分の力だけではなく、周りの人達の支えで頑張れているという事を再確認することができました。本当にどうもありがとうございます。

令和2年度共同募金助成金は、4ブロック研修会、広報紙発行に充当させていただきました。ご報告し、お礼を申し上げます。